

10月は「がん予防推進月間」

あなたを「がん」から守るのはあなた自身です

【問合わせ】保健センター ☎84-0646

国民の2人に1人ががんにかかり、亡くなる方の3人に1人は、がんが原因です。最近では、がんは、生活習慣・生活環境の見直しにより予防できることがわかってきました。また、早期発見・早期治療を徹底すれば、90%以上が治ります。定期的な検診とともに、いま一度、自身の生活習慣を見直してみましよう。 ※ここでいう「治る（治癒）」とは、全がんを対象とした診断時からの5年相対生存率です。

年代ごとの受けるべきがん検診

国は、対象年齢の方に対し、毎年の肺・大腸がん検診受診、2年に1度の胃・子宮頸・乳がん検診受診を推奨しています。

男性の方へ

40代

40代男性の死亡原因第1位が、がんになりました。がんは、高齢者だけの病気ではありません。検診による早期発見が大切です。

【必ず受診してほしい、3つのがん検診（なりやすいがん順）】
①大腸がん ②胃がん ③肺がん

50代

50代は、そろそろ「がん年齢」。定期的な検診受診における早期発見によって、大腸がん・胃がん・肺がんは、80%以上が治癒します。

【必ず受診してほしい、3つのがん検診（なりやすいがん順）】
①大腸がん ②胃がん ③肺がん

60歳以上

60歳を過ぎると、がんにかかる人は激増します。早期のうちは、自覚症状がないため、検診を受けないと見つけれません。

【必ず受診してほしい、3つのがん検診（なりやすいがん順）】
①胃がん ②大腸がん ③肺がん

「がんを防ぐための新12か条」**

感染予防

第9条 ウイルスや細菌の感染予防と治療

目標

感染予防や早期治療で、発生を防ぐことのできるがんもあります。

【**肝炎ウイルス**】B型・C型肝炎ウイルスに感染した人は、肝がんになりやすいと言われています。保健所や医療機関で、一度は肝炎ウイルスの検査を受けることをお勧めします。検査結果に応じて、かかりつけ医を受診しましょう。

【**ピロリ菌**】胃がん発生の重要な原因の一つと考えられています。日本人中高年は、感染率が非常に高いことが分かっています。かかりつけ医にピロリ菌検査などを相談してみましよう。

検診

第10条 定期的ながん検診を

目標

半田市がん検診についての詳細は、次ページ以降をご覧ください。

受診

第11条 体の異常に気がいたら、すぐに受診を

目標

やせる、下血がある、咳が続く、食欲がないなどの症状に気づいたら、かかりつけ医などに受診しましょう。

情報

第12条 正しいがん情報でがんを知ることから

目標

科学的根拠に基づくがん情報を得て、あなたに合ったがんの予防法を身につけましよう。



参考：財がん研究振興財団「がんを防ぐための新12か条」